

2025 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況 (2024 年度年次報告書) の概要

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略（2024-2026）」に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に御報告するとともに、公表を行う。

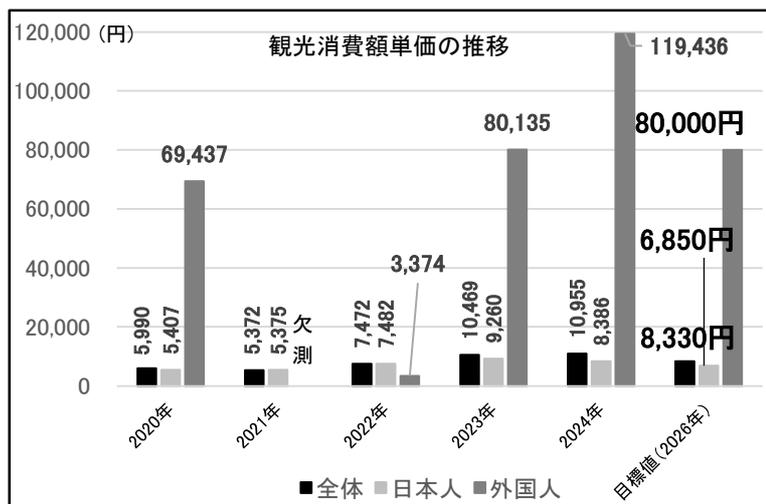
第 1 数値目標の達成状況

2024 年の本県の観光は、コロナ禍からの本格的な復調が鮮明となり、観光消費額は過去最高を記録するとともに、2026 年の目標値を前倒しで達成した。特に、外国人の観光消費額の前年からの伸びは顕著であった。一方で、観光入込客数は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の 2019 年の水準には届かなかった。

(1) 観光消費額単価（本冊 4 頁）

観光消費額単価は、日本人は 8,386 円と前年より減少したものの、目標値を上回った。

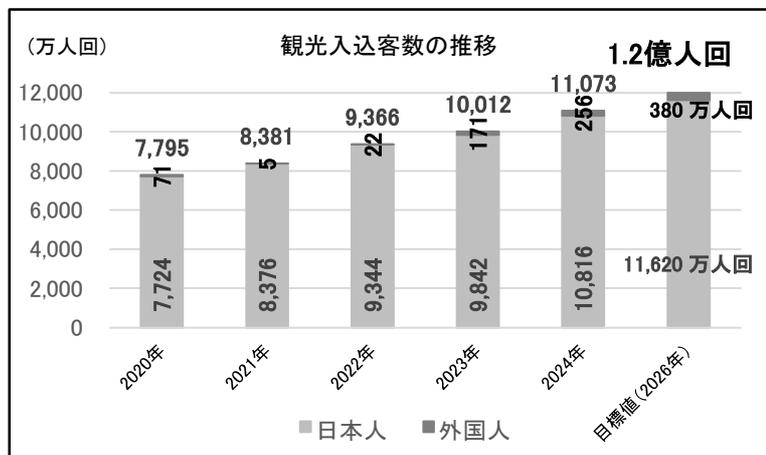
外国人は、過去最高の 119,436 円で、目標値を大きく超えた。



(2) 観光入込客数（本冊 4 頁）

観光入込客数は、日本人は 1 億 816 万人回、外国人は 256 万人回で、ともに前年を上回った。

なお、コロナ禍前の 2019 年と比較すると、日本人は 94%、外国人は 68%にとどまった。

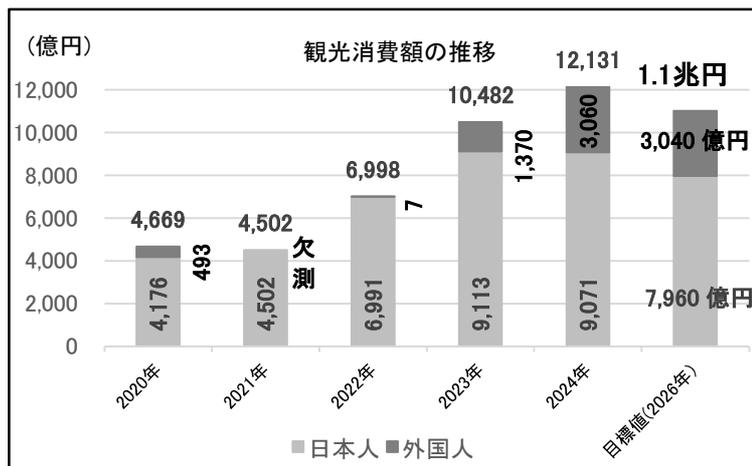


(3) 観光消費額（本冊 5 頁）

観光消費額は、日本人、外国人合わせて 1 兆 2,131 億円で過去最高を記録し、目標値を達成した。

特に、外国人の消費額は、前年比 2.2 倍と大幅に増加した。

訪日外国人について、宿泊者は前年比 2.25 倍と大きく伸びており（下表）、宿泊型消費の拡大が顕著となった。



【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

	2023 年(億円)	2024 年(億円)	2024/2023 年比
県内在住者・宿泊	890.1	965.6	1.08 倍
県内在住者・日帰り	2,355.3	1,922.6	0.82 倍
県外在住者・宿泊	4,060.5	3,977.4	0.98 倍
県外在住者・日帰り	1,807.1	2,205.1	1.22 倍
訪日外国人・宿泊	1,355.8	3,050.1	2.25 倍
訪日外国人・日帰り	13.7	9.8	0.72 倍

第 2 2024 年度の主要な観光振興施策の実施状況（抜粋）

「あいち観光戦略 2024-2026」の目指すべき姿『さすが』と言いたくなる『観光県・あいち』の実現に向け、「地域資源の観光コンテンツ化」「PR・プロモーション」「受入環境の整備」「観光地経営体制の強化」「MICE の誘致・開催に向けた取組強化」の 5 つの展開分野で施策を実施した。

展開分野Ⅰ「地域資源の観光コンテンツ化」

「発酵食文化」の振興及び国内外への魅力発信を通じて、世界から多くの人を呼び込むため、有識者や関係団体とともに愛知「発酵食文化」振興協議会を設立して、シンポジウムの開催や、発酵をテーマとしたコンテンツの造成などを行った。

また、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等を目的としたコンテンツ、及び個人旅行者が自由に旅程に組み込むことができるコンテンツの造成を支援した。

展開分野Ⅱ「PR・プロモーション」

2026 年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会期間中などの送客が期待できる東アジア・東南アジアの旅行会社やメディア関係者を招請し、旅行商品の造成や情報発信を促進した。

また、市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を実施し、EBPM（根拠に基づいた政策立案）の推進に向けたPR・プロモーション能力の向上を支援した。

展開分野Ⅲ「受入環境の整備」

観光施設における多言語表記の整備を支援するため、ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成した。

展開分野Ⅳ「観光地経営体制の強化」

観光関連産業における労働生産性の底上げを目指すため、観光関連宿泊業を対象に、この地域に蓄積された「モノづくり産業」の「カイゼン」のノウハウを活用し、業務改善を支援した。

また、観光需要の平準化に向け、愛知県観光協会が発行する、平日限定で県内26の美術館等に入館できるパスポートを広告面で支援した。

展開分野Ⅴ「MICEの誘致・開催に向けた取組強化」

名古屋市及び経済界と連携し、2027年の第60回アジア開発銀行年次総会の愛知・名古屋での開催に向け、誘致活動を実施した。

また、スマートシティ及びその基盤となるような次世代技術をテーマとした産業展示会「AXIA EXPO」を新規に立ち上げた。

第3 2025年度の主要な観光振興施策（抜粋）

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」を活用した誘客に向け、放送にあわせて、JR名古屋駅コンコースにおけるインフォメーションセンターの設置や、周遊ドライブマップの作成、滋賀県、奈良県と連携した広域周遊企画等を実施していく。

また、アジア・アジアパラ競技大会に向けて、今年度開催される「世界放送者会議」「世界報道会議」参加のために集まる報道関係者を対象にエクスカージョンを実施し、各国メディアに対する本県の観光地に関する情報発信につなげていくほか、中国・香港・韓国の旅行会社と県の観光事業者を対象とした商談会を実施し、旅行商品の造成を促す。

さらに、本県で初めて開催される「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」に、愛知県ブースや中部北陸9県による共同ブースを出展するとともに、特設ステージを設置し、PRを実施していく。